

# 内田樹 & 白井聡対談集会

## 象徴天皇制と戦争放棄

—多様な価値観の共存する社会を目指して—



内田 樹 (うちだ たつる) 氏  
神戸女学院大学名誉教授・  
京都精華大学客員教授  
思想家、武道家

神戸市で武道と哲学研究の  
ための学塾・凱風館を主宰  
し、「安倍9条改憲 NO! 全  
国市民アクション」発起人  
の一人でもある。

様々なテーマを縦横無尽に論じ、小林秀雄賞を受賞した『私家版・ユダヤ文化論』をはじめ、『困難な成熟』『街場の天皇論』『街場の憂国論』『街場の読書論』等、多数の著書があり、『若者よ、マルクスを読もう III』(石川康宏氏との共著)等、若者向けの著作も多い。

内田氏と白井氏の共著に『日本戦後史論』『属国民主主義論』等がある。

ここ数年の間に、国家安全保障局創設、特定秘密保護法制定、集団的自衛権行使容認、安保法制(戦争法)制定、共謀罪法制定といった具合に戦時法制と呼びうるものが整備され、それと平行して学校での君が代斉唱・日の丸掲揚が強制されるとともに、道徳教育の教科化という、次世代を担う子ども達の価値観を一元化しかねない政策がとられてきました。さらに、憲法第九条の明文改憲が目論まれている状況を見る時、現政権によって目指されている方向は明らかです。その流れの中で、対外的にはアメリカに「自発的属国」として振る舞う一方で、国内的にはマスメディアに圧力をかけるなど、情報統制・言論統制までも企てられています。多様な価値観を持つ私たちの一人一人が現在の危機に気づき、それぞれに考えて行動することが必要です。若い世代にどのような社会を継承していくのかが、いま問われています。

社会や若者に向けて積極的に発言されている内田樹氏と、わが国の戦後史に新たな光を当てて注目されている白井聡氏に対談していただくだけでなく、参加者との議論の時間も設ける予定です。



白井 聡 (しらい さとし) 氏  
京都精華大学専任講師  
政治学・社会思想専攻

石橋湛山賞等を受賞した  
『永続敗戦論 戦後日本の  
核心』(2013年)で一躍脚光  
を浴び、日本の戦後史に新  
しい光を当て続けている。

『永続敗戦論』の他、『未完のレーニン—「力」の思想を読む—』『日本劣化論』(笠井潔氏との共著)『戦後政治を終わらせる 永続敗戦の、その先へ』『白井聡対談集』『国体論 菊と星条旗』『増補 「戦後」の墓碑銘』等、著書多数。

とき：2019年3月31日(日)

14:00~16:30 (開場 13:30)

ところ：ウィルあいち 3F 大会議室

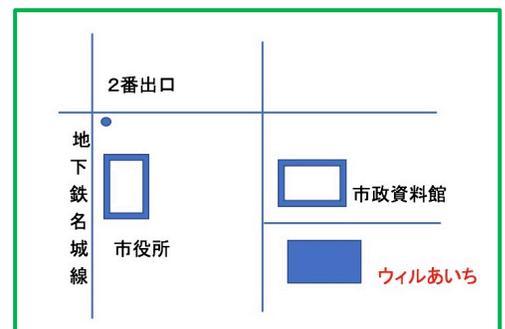
名古屋地下鉄名城線「市役所」駅、2番出口より東へ徒歩10分

参加費：1000円(学生・障がい者は800円)

予約不要 先着300名

主催：内田樹&白井聡対談集会を成功させる会

協賛(あいうえお順)：愛知大学九条の会、ウニタ書店、新婦人愛知県本部、  
第9条の会なごや、ちくさ正文館、東海放送人九条の会、  
日本ジャーナリスト会議東海、もりやま九条の会



問合せ先：(0561)83-5952 (木戸)